

第11回前田寛治大賞展 市民賞受賞作品



No.31 橋本大輔《Traces》2023年

【投票者の主な声】

- ・絵の中の木や草から伝わってくるものを感じます。静寂、息吹、音 etc。
- ・雄大で隅々まで行き届いている感じで、木の皮、葉っぱの一枚にも心があると感じた。
- ・荘厳な雰囲気の中に緑のすがすがしさを感じた。
- ・自然の持つ木のエネルギーの素晴らしさを感じた。
- ・木がきれいだった。木の精が住んでいそう。
- ・この木は力強く生きてるように思った。力をつけてくれた。私もしっかりがんばります。
- ・巨大な樹木の生命力を感じた。パワーがもらえた。
- ・木が本当にリアルでトトロが出てきそうな感じがした。
- ・木の質感など、子どもの頃に山で遊んでいた時を思い出し懐かしく感じたから。
- ・倉吉博物館に来るまでの道で似たような景色を見たから。
- ・大樹と緑に吸い込まれそうな豊かな気持ちを持った。
- ・ほこらの命と大樹の生命力の対比。
- ・たくましい大木に人生を感じる。
- ・「生き物」としての樹の表情を実際に、それ以上にリアルに追求し、その延長線上に作家自身の心を探り続けているように感じた。
- ・緑の大木に圧倒された。元気をもらえた。木の存在感が美しい。